

県民 だより

2005

7

月号

編集・発行 栃木県広報課
平成17年7月15日発行



〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>



栃木県 2,014,278人(前月比+864人、前年同月比+1,031人)
◎男1,000,217人 ◎女1,014,061人
◎世帯数713,747世帯 (6月1日現在)



【目次】
CONTENTS

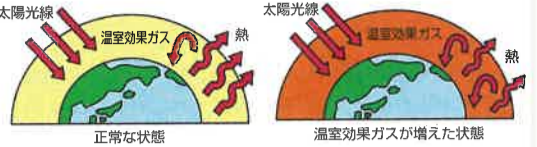
2 発達障害者支援センター

3 県からのお知らせ
県政トピックス

4 地域のおたより
とちぎの元気印 ほか

温暖化の仕組み

二酸化炭素などの温室効果ガスは、地球の放射熱を蓄える性質があります。これが大気中に増えることにより、地球の温度が上昇します。



私たちにできること ~温室効果ガスを減らすために~

- 冷房は28度に設定しよう(温度調節で減らそう)
- 蛇口はこまめに止めよう(水道の使い方減らそう)
- エコ製品を選んで買おう(商品の選び方で減らそう)
- アイドリングをなくそう(自動車の使い方減らそう)
- 過剰包装を断ろう(買い物とゴミで減らそう)
- コンセントをこまめに抜こう(電気の使い方減らそう)



自分の息を吹き込んで、二酸化炭素の濃度ををはかろう。「どのくらい二酸化炭素が含まれているのかな〜」

ストップ!地球温暖化 みんなできり組もう

みんなできり組もう 温暖化防止

県は、地球温暖化を防止するための計画を策定し、県民、事業者、行政の具体的な行動指針を盛り込みました。県民や事業者は、省エネやリサイクルなどに取り組み、県は省エネや新エネルギー導入の推進、緑化事業などをすすめます。

全国的に見て比較的日照時間が長い栃木県は、太陽エネルギーを利用しやすい環境にあります。そこで県は今年度、太陽光発電システムへの融資制度を設け、家庭での温暖化防止の取り組みをすすめています。

企業も省エネ

県内の二酸化炭素の排出量は、産業部門が最も多くなっています。

コマツ小山工場では、「環境省エネグループ」という専門のチームをつくり、全員参加型でさまざまな取り組みを実践しています。省エネ型の空調設備を導入したり、工場の天井から昼の自然光を取り入れたりして、電気消費量を大幅にカットしました。同グループの野沢定雄さんは「コマツでは環境への負担を最小限に抑え止めるため、社内からさまざまなアイデアを出して、徹底的に取り組んでいます。また、減ったエネルギー量を数値化して、省エネの効

地球温暖化により、異常気象や自然環境への影響などが心配されており、百年後には平均気温が1.4〜5.8度上昇すると予測されます。進行する温暖化を防止するため、一人ひとりが、何ができるかを考え、行動を起こすことが大切です。県は、県民総ぐるみで温暖化防止に取り組んでいきたいと考えています。



コマツでは、省エネ機器を積極的に導入。発電時に余った熱から蒸気をつくります

地球の問題を 身近なものに

地球温暖化を防止するためには、県民一人ひとりの行動の積み重ねが大切です。県は、現在八十二名の方々に「地球温暖化防止活動推進員」として、地域で温暖化防止に取り組んでいただ

果が目に見えるようにしています。今後、社外での講演などでノウハウを広めていきたい」と話しています。

我が家は発電所



のうみ 納富 信也さん(さくら市)

我が家は、太陽の恵みを受けて発電されたクリーンな電力を売ることによって環境に貢献しています。また、太陽光発電システムは発電量だけでなく、電気使用量がわかるので、こまめに電気を切るようになり、省エネの効果もあります。

一般住宅用太陽光発電システム 融資制度のご案内

- 対象** 県内に居住または新たに県内に居住し、太陽光発電システムを設置しようとする方
- 融資内容**
 - 限度額 200万円
 - 金利 年1.7%
 - 償還期間 10年以内
 - 保証・担保 取扱金融機関の定めるところによります



県環境政策課 ☎028-623-3187

「栃木県地球温暖化防止活動推進センター」は、温暖化防止に取り組む県民の皆さんをサポートするため、情報提供や支援活動を行っています。また、「とちぎの環境県民会議」では、県民や民間団体、事業者、行政が連携・協力して、地球温暖化防止に取り組んでいます。

「推進員の清水映夫さんは、温暖化をテーマにした『推進だより』の発行や、学校・病院・企業向けの講座を行っています。『暮らしの中で実践できる省エネ活動を広めて、この環境を子や孫の時代にも残していきたい』と話しています。

発達障害を知ってください

発達障害者支援センター「ふおーゆう」

県は、七月から、発達障害者支援センター（愛称「ふおーゆう」）の業務を開始しました。発達について不安を持つ方やご家族が、幼児期から成人期に至るまで、地域で安心して充実した生活を送ることができるよう支援していきます。

発達障害とは

全ての子どもたちは、それぞれの個性を持って生まれてきます。「発達障害」も、そうした生まれながらの個性のひとつです。脳の機能的な問題が原因で生じているもので、心の病気や親の育て方によるものではありません。代表的なものに、自閉症・アスペルガー症候群、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などがあります。それぞれ「対人関係が築きにくい」「読み書き計算が苦手」「衝動的に行動する」など、学校や社会の中で、生活のしにくさを感じてしまうような特徴があります。発達障害は、周囲の正しい理解と適切な支援によって改善していきます。このため、本人を取りまく環境を整えることがとても大切になります。

「一人ひとりに合わせた支援を」

発達障害者支援センター療育担当の服部さんにお話をうかがいました

発達障害といっても、内容も程度も人によって違います。例えばLDでは、読むことは好きでも書くことの苦手な子、筆算の計算はできてもおつりの計算が暗算でできない子など、さまざまです。これらは周りの大人が丁寧にみていかないと気が付きにくいものです。

また、自閉症の方の場合も、幼児期から自閉症の特徴がはっきりとみられる子もいますが、気がつきにくい場合もあります。小学校や中学校、あるいはそれ以上になって、集団生活になじめないことなどから、小さい頃のことを振り返ってみると、自閉症の特徴を持っていたということがわかる方もいます。

このような方たちには、一人ひとりの特徴や状態をよく理解して、困難や問題に合わせた支援が必要です。センターではその方にどんな支援が必要なのか、専門家の先生方の助言をもとに支援計画を立てたり、総合教育センターや地域の関係機関と連携したりして、発達障害の方々をサポートしていきます。

そして、社会全体で支援できる仕組みをつくっていききたいと思います。



服部美佳子さん

発達障害者支援センターを開設

こうした発達障害のある方と家族を支援するため、とちぎりハビリテーションセンター内に発達障害者支援センターを開設しました。センターでは、相談支援、療育支援、就労支援、普及啓発などを行います。さらに、教育や就労分野等関係機関とのネットワークを築く中核的機関の役割を担っていきます。



7月2日に行われた開所式。「ふおーゆう」とは「for you」の視点から「豊かに」「優しく」支援することを目指した愛称

学校卒業後の就労を支援

県では、市町村が行う乳幼児健診などさまざまな機会を通じて、発達障害児の早期発見、早期支援に取り組んできました。

また、教育委員会では、小・中学校へ専門家を派遣し、指導方法や校内の支援体制について指導・助言する巡回相談などを行っています。このような取り組みから、発達障害のある子どもたちを学校全体で計画



的に支援できるような体制が整ってきています。しかしながら、学校卒業後の就労に関する相談窓口はほとんどありません。センターでは、「働きたい」「うまく仕事ができない」などの悩みを抱えている方や、雇用者からの相談をお受けします。そして、ジョブコーチ（※欄外参照）制度などを活用しながら、障害者職業センターやハローワークなどの他機関と連携して、就労を支援していきます。

発達障害への理解を

発達障害は、学校や専門家が理解して対応すればいい、ということではありません。ひとりでも多くの皆さんが発達障害について理解することで、社会全体で支援できる環境が整ってきます。家庭や学校、就労の場などで、一人ひとりに合わせた支援をすることで、発達障害についての問題は、ある程度解決できるのです。県では、障害のある方も豊かな生活を送ることができ、社会を目指していきたくて考えています。発達について不安を持つ方やご家族は、ぜひ、発達障害者支援センターへご相談ください。

「問合せ」発達障害者支援センター「ふおーゆう」
028-623-6111

発達障害について

自閉症、アスペルガー症候群

- 食べ物やおもちゃなど、特定のものごとにこだわりを示す
- 友達と遊べない。集団活動に参加できない
- 自分の気持ちをうまく伝えられず、パニックになることがある
- 一日のスケジュールや環境が変わるととまどう
- 手先が不器用
- 他人の気持ちや意図をくんだり、その場の状況を理解することが難しい



注意欠陥多動性障害(ADHD)

- 落ち着きがなく、不注意が目立つ
- 思いついたらすぐ行動する
- 順番が守れない



学習障害(LD)

- 学習面で特定の領域が著しく苦手(読み、書き、計算など)

※県では、昨年度、県内の保育所の5歳児を対象に発達障害の調査を行いました。その結果、5.3%にあたる子どもたちが発達障害の疑いがあると判断されました。これは、1学級に約2人の割合となります。

発達障害者支援センター「ふおーゆう」利用案内

- 利用できる方 お子さんの発達について心配をお持ちのご家族や支援者の方、関係機関の方、発達障害のある方(年齢は問いません)
- 利用方法 相談は予約制になります ☎028-623-6111
- 利用時間 月曜～金曜(祝祭日除く)午前9時～午後5時
- 場所 宇都宮市駒生町3337-1 (とちぎりハビリテーションセンター内)
- ホームページ <http://hattatsu.pref.tochigi.jp/>



「親も学校も地域も 社会全体で理解して欲しい」

「ゆずりは」は、LD、ADHD、アスペルガー症候群など発達障害児者の親の会で、相談会やレクリエーションなどの活動を行っています。

私の子どもは小学生で、二人ともLD、ADHD、アスペルガー症候群の診断を受けています。幼稚園に入った頃から、集団生活ができない、口より手が出てしまうというトラブルがありました。電話で相談しても「よくあること」と言われ、発達障害だと気づかずに過ごしてしまいました。下の子の健診をきっかけに親子教室やなかよしクラブに通うようになってから、発達障害というものを知りました。発達障害を理解できるようになってから、私自身、精神的にとっても楽になりました。また、幼稚園や学校でうまく対応してくれるようになり、もっと早くわかっていれば、と感じます。発達障害について、先生だけでなく親も地域の皆さんも理解してくれれば、もっと過ごしやすい社会になると思います。



LD等軽度発達障害児者の親の会「ゆずりは」代表 石原葉子さん

「就労には周りの理解と協力を」

今年5月、日本自閉症協会栃木県支部の高機能部の立ち上げに参加しました。私の息子は知的障害を伴わない自閉症と診断されています。大学卒業後、就職がうまくいかないことで悩み「もっと情報が欲しい」と感じ、親の会に参加し、活動を始めたところでした。発達障害の方とその家族は、就労でとても苦労しています。企業は応用の利く人、機転の利く人を求めています。就職してもコミュニケーションがうまくとれないため、長く続けられません。「発達障害」という雇用枠もないので、採用されることも困難です。

自閉症の場合、几帳面で真面目にやることはできるが、「応用を利かせる」ことができない性格。しかし、本人の特性を生かしてもらえるような周囲の理解と協力があれば、十分仕事ができるのではないのでしょうか。そのためにも、ジョブコーチの方に企業との橋渡しをしていただければ、ありがたいと思います。

もしかして、就職できずに家に閉じこもっている方で、発達障害と気づかない方も多いのでは。不安をお持ちの方は、ぜひ外に出て相談して欲しいですね。



日本自閉症協会栃木県支部 高機能部 大山美那子さん

募集

とちぎ元気フォーラム開催 ～知事との対話集会に参加しよう～

●8/27(土)午後1時30分～●足利市民会館
●県民の皆さんと知事との対話集会を開催
●県政に関することならどんな話題でも結構です。お気軽にご参加ください
●応募資格 県内に在住・通勤・通学する方
●応募方法 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業(学校名)・託児希望の有無を、8/12(金)までに電話・はがき・FAX・Eメールで
◎あて先・問合せ 〒320-8501県広報課
☎028-623-2158 FAX028-623-2160
E kocho@pref.tochigi.jp

「ジュニア知事さん」作品募集

●もし、知事になったらどんなことをしてみたいですか。夢や希望を400字づつ原稿用紙1枚にまとめてください●対象 小学4～6年生●応募方法 原稿用紙の余白に題名、裏面に氏名・学校名・学年・性別・住所・電話番号を記入し郵送で●応募締切 9/9(金)
〒320-8501県広報課☎028-623-2158

「若年者職業訓練パウチャーモデル事業」利用者募集中

●パソコン検定や医療事務、ホームヘルパーなど自分にあった職業訓練を受講しませんか。キャリアカウンセリングを通じて、職業訓練の必要性が認められた方に「職業訓練パウチャー(利用券)」を配り、若い方のキャリアアップを応援します●県が費用の半額(上限75,000円)補助します●応募資格 県内在住の35歳未満の方で、雇用保険制度の支援を利用できない方など●定員 100名
☎とちぎ就職支援センター☎028-600-6706

地球温暖化防止活動推進員を募集

●地球温暖化防止活動に率先して取り組んでくださる方を募集します●募集人数 100名●応募資格 県内在住の満20歳以上の方●所定の申請書に応募の動機(1,000字程度の作文)を添付●応募締切 8/31(水)
☎県環境政策課☎028-623-3187

県の人口当てクイズ

●10/1(土)に国勢調査を実施します。県の10月1日現在の人口を予想してみよう。正解が一番近い方の中から抽選で50,000円相当をプレゼント●応募資格 県内に在住・通勤・通学する方●応募方法 県の予想人口・住所・氏名・年齢・電話番号・勤務先(学校名)を記入してはがき・Eメールで●応募は1人1通、回答は1つのみ●応募締切 9/30(金)
◎あて先・問合せ 〒320-8501県統計課
☎028-623-2246 E jtokeika@pref.tochigi.jp

「家族への愛のメッセージ」募集

●日ごろは伝えられない感謝の気持ちや将来への思いをつづってみませんか。父母に感謝していること、親から子へのはなむけの言葉、子どもを持って知った親の心など概ね400字以内にまとめてください●応募資格 県内に在住・通勤・通学する方●応募締切 9/9(金)
☎とちぎ青少年こども財団☎028-621-1611

統計グラフ栃木県コンクール作品募集

●統計グラフ作品をご応募ください●応募資格 小学生以上の方●課題は自由(小学4年生以下は自ら観察・調査した結果をグラフに)●応募締切 9/5(月)必着
☎県統計課☎028-623-2242

「心の輪を広げる体験作文」& 「障害者週間のポスター」の募集

●障害がある方に対する理解を深める内容の体験作文及びポスターを募集します●応募資格 作文は小学生以上の方、ポスターは小・中学生●応募締切 9/6(火)
☎県障害福祉課☎028-623-3492

明るい選挙啓発ポスター作品募集

●一人ひとりが大切な一票をすすんで投票する「明るい選挙」をおすすめるポスターを募集します●応募資格 小・中・高校生●応募締切 9/2(金)
☎県選挙管理委員会☎028-623-2126

河川愛護ポスターコンクール

●河川愛護に関するポスターを募集します●応募資格 小学生以上の方●B3版用紙をタテに使用して、河川愛護に関する文字を必ず入れてください●応募締切 9/30(金)
☎県河川課☎028-623-2439

児童生徒発明工夫展覧会の作品募集

●児童・生徒の皆さんの発明工夫を凝らした作品を募集します●応募資格 小・中・高校生●募集期間 9/5(月)～22(木)
☎県総合教育センター☎028-665-7204

「フェスタinパーティ2005」参加者募集

●男女共同参画をすすめる活動の成果を発表しませんか(11/12(土)・13(日)開催)●申込締切 8/12(金)



とちぎ男女共同参画センター
☎028-665-7706

催し

夏の省エネキャンペーン in 子ども総合科学館

●7/31(日)午前9時30分～午後3時●県子ども総合科学館(宇都宮市)●暮らしの中の省エネのヒントを展示などで紹介します●当日直接会場へ
☎県環境政策課☎028-623-3187

らくのうふれあいデー ～県農試験場においでよ

●8/6(土)午前10時～午後3時●とちぎファームフェスタ2005の紹介や那須野ヶ原疏水太鼓の実演、農畜産物の販売など盛りだくさん!●入場無料
☎同試験場(那須塩原市)☎0287-36-0230

県立図書館の催し

◎子どもの本のつどい
●①7/23(土)②8/4(木)●午後2時30分～3時●絵本の読み聞かせ
◎インターネットを活用した図書館講座
●8/27(土)午後1時30分～4時●受講無料●定員 先着20名●対象 パソコン初級者
申込締切 8/25(木)
☎同館☎028-622-5113

講座

とちぎ県民カレッジの講座

◎「安全・安心の暮らしセミナー」
●9/1(木)～10/20(木)の毎週木曜・午後6時30分～8時30分●県総合文化センター(宇都宮市)●内容 プロの侵入手口と防犯対策、少年犯罪と親子関係など●参加費 6,000円●定員 80名(抽選)●託児あり(要予約)●申込締切 8/1(月)
☎とちぎ生涯学習文化財団☎028-643-1006

消費者農業体験講座(全4回)

●8/19、9/1、10/6、11/17●午前9時30分～正午●県農業大学校(宇都宮市)●秋冬野菜の栽培管理の方法を学ぼう●対象 一般消費者の方●参加無料(教材費別途)●定員 30名●申込締切 8/5(金)
☎同校☎028-667-4944

海外経済情報セミナー

●8/5(金)午後1時30分～3時10分●とちぎ産業交流センター(宇都宮市)●テーマ「海外展開のリスクマネージメント～中国・東南アジアを中心として～」●受講無料●定員 50名●申込締切 7/29(金)
☎県産業政策課☎028-623-3165

案内

行政相談所をご利用ください

●行政に関する苦情、意見・要望などをお受けします●会場 宇都宮中央郵便局(毎月第4水曜・午後1時30分～4時30分)、パルティとちぎ男女共同参画センター(毎月第3土曜・午後1時30分～3時30分)☎総務省栃木行政評価事務所☎0570-090110

建設業経営巡回相談窓口をご利用ください

●県の各土木事務所では、月1回、経営改善や新分野進出に関する相談窓口を開設しています。中小企業診断士などがご相談をお受けしますのでご利用ください●相談無料●申込みは電話で●詳細は最寄りの県土木事務所へ問合せを
☎県監理課☎028-623-2390

東北自動車道(宇都宮IC～白河IC区間内相互間利用のみ)の料金を半額割引く社会実験を行っています

●8/31(水)まで☎栃木県北部東北自動車道社会実験推進協議会☎0287-62-8112

福祉のしごと相談会のご案内 ～休日開所も行っていきます～

●福祉職の求人・求職についてご相談ください●相談日時 月～金曜・土曜(11月を除く月1回)、午前9時～午後5時●相談無料
☎福祉人材・研修センター☎028-643-5622

働きやすい職場づくり 推進アドバイザーを派遣します

●仕事と家庭が両立しやすい職場環境の整備など、人事・労務管理上の悩みをご相談ください。専門のアドバイザー(社会保険労務士)を派遣します●対象 県内の中小企業●申込みは電話で●相談1回無料
☎県労政課☎028-623-3218

献血にご協力 ～愛の血液助け合い運動実施中～

●夏季は血液が不足しがちです。成分献血と400ml献血にご協力ください
☎県業務課☎028-623-3119

コイヘルペスウイルス病のまん延 防止にご協力をお願いします

①天然ごいの移動や放流を全面禁止します②養殖・飼育ごいは放流を制限します③県内の川やダム、ため池などにこいを捨てないでください☎県生産振興課☎028-623-2351

県政トピックス

県の出来事を紹介します。

1 井頭公園で 県民の日イベント

六月十一、十二日の二日間、真岡市内の井頭公園で「県民の日記念イベント」が開催されました。会場では、県の仕事を紹介するコーナーのほか、ふれあい健康ウォークなど、多くのイベントが行われました。市町村・関係団体コーナーでは、特産品の販売や真岡綿の織り体験などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



両日あわせて9万2千人が来場し、イベントを楽しみました

2 愛・地球博で とちぎの魅力PR

愛知県で行われている「愛・地球博」会場で、六月十七日「ようこそ世界遺産と温泉の郷」をテーマに「栃木県の日」のイベントが開催されました。会場では、和太鼓のライブや名産品の抽選会などが行われました。また、温泉体験コーナーも設けられ、来場者はとちぎの魅力を満喫しました。



タレントのガッツ石松さんと福田知事とのスペシャルトークで、「栃木の温泉で癒されて欲しい」と呼びかけました

3 日光宇都宮道路が 県道路公社に引き継がれました



引継式では、日本道路公団と栃木県道路公社で引継書が取り交わされました

六月二十七日、県公館で日光宇都宮道路引継式が行われました。日光宇都宮道路は、東北自動車道宇都宮ICから日光市清滝を結ぶ30.7kmの自動車専用道路。昭和五十一年に開通して以来、日光へ向かう観光客を中心に多くの方に利用されています。なお、通行料金も約半額に値下げするなど、今後ますます道路を目指します。

技能五輪国際大会で敢闘賞

5月25日～6月1日、フィンランドで第38回技能五輪国際大会が開催されました。電気部門の日本代表で出場した田中さんが、敢闘賞6位を受賞。本県から国際大会に出場するのは、10年ぶり20人目の出場でした。

田中さんにお話を伺いました



田中 潤さん
関電工栃木支店

国際大会には日本から32職種36名の選手が参加しました。みんなつらい練習を続けてきたので、出場することを誇りに思っています。大会では、4日間で5つの電気の配管についての課題を競いました。現地では初めて見るヨーロッパの部品が多く、説明書も英語なので苦労しました。技能五輪出場の前は、何度も配管の訓練をしました。支えてくれた会社や家族のためにも頑張りました。これから技能を身につける人には「自分の腕を信じるのが大切」と伝えたい。将来は、現場に精通した技能者になりたいと思います。



昨年10月に岩手県で開催された全国大会。田中さんは、電気部門で見事優勝

一口メモ

技能五輪とは、23歳以下の青年技能者の技能レベルを競う大会で、建築大工や自動車板金などの職種で、毎年全国大会が開催されています。全国大会での優勝者は、国際大会に出場することができます。

県はものづくりに携わる若い技能者の育成を支援していきたいと考えています。

県職業能力開発課 ☎028-623-3237

とちぎの 元気印



さくら市

3月28日、氏家町と喜連川町が合併し、「さくら市」が誕生しました。さくら市ゆうゆうパークやお丸山公園、早乙女の桜並木など桜の名所がたくさんあります。喜連川温泉では良質な温泉をお楽しみいただけます。

地域の おたより



面積 125.46km²
人口 41,303人
(6月1日現在)

観光スポット

民具の館 空碗舎・うじいえ
●安岡路洋コレクション ●午前10時～午後6時 ●月曜休館(祝日の場合は翌日) ●入場無料
☎同館 ☎028-681-7654

民具の館 空碗舎・うじいえの 神崎さんにお話を伺いました

空碗舎・うじいえは商業集積活性化施設「eプラザ吉番館」にあります。骨董収集家の安岡路洋さんの監修のもと、古い民具などを展示しています。8/5(金)から「我が家の家宝大集合 市民が創る企画展」-栃木のやきもの編」を開催します。石の蔵を改造した「eプラザ吉番館」にはレストランも。毎月第3日曜に「うじいえ骨董市」も開催中。ぜひ遊びに来てください。



神崎千明さん

さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-
●仏画家・荒井寛方の作品を展示 ●企画展「アジアの民族造形展-インド・パキスタンの布・陶・金属とミャンマーの漆-瀧田項一・金子重蔵蔵品より」7/22(金)～9/4(日)
●午前9時～午後5時 ●休館日 月曜(祝日の場合は翌日)、7/19(火)～21(木)、8/16(火) ●観覧料300円(一般) ☎同館 ☎028-682-7123



道の駅きつねがわ

●2つの露天風呂と、水着で入るクアハウスがあります。クアハウスでは水中ウォーキングで楽しくエクササイズができます ●地元特産品の販売も ●第4月曜休館
☎道の駅きつねがわ ☎028-686-8180



自然 とちぎふれまう

とちぎ花センター

●「世界の食虫植物展」
●世界最大級のウツボカズラなどを展示
●7/20(水)～9/11(日)
●午前9時～午後4時30分
●月曜休館(祝日の場合は翌日)
●大人420円 子供210円
☎同センター ☎0282-55-5775



ウツボカズラ

県民の森「森の集い」

●森で一日芸術家 ●ハイキングで見つけた木の枝や葉をつかって森の生き物の工作をしよう ●7/27(水)午前9時30分～午後3時 ●対象 子どもとその保護者 定員 先着30名 ●参加無料
☎同管理事務所 ☎0287-43-0479

日光自然博物館

●早期観察会 in 中禅寺
●朝の光の中、散歩に出かけよう ●8/11(木)～18(木)午前6時30分～7時30分(雨天中止) ●参加無料 ●申込不要
☎同館 ☎0288-55-0880

「森と湖に親しむ旬間」の催し

●ダム的一般・特別公開 ●西荒川ダム(塩谷町) 7/26(火) ●東荒川ダム(塩谷町) 7/27(水) ●寺山ダム(矢板市) 7/28(木) ●塩原ダム(那須塩原市) 7/29(金)
☎県那珂川水系ダム管理事務所 ☎0287-43-5224

●魚のつかみどり ●7/23(土)午前10時30分～午後2時 ●東荒川ダム(塩谷町) ●参加無料
☎塩谷町産業課 ☎0287-45-2211



なかがわ水遊園

●まるごと水遊園
●夜の水族館に泊まる ●①8/3(水)～4(木)、②8/8(月)～9(火)、③8/22(月)～23(火)、1泊2日 ●対象 小学5・6年生 ●定員 各回30名(抽選) ●参加費 2,000円 ●申込み 各回とも開催10日前までに往復ハガキ(〒324-0404 湯津上村佐良土2686)で

夏の特別展「なつの遊び大図鑑～自然はボクらの宝箱～」

●笹舟づくりや磯遊びなど「山・川・海」での50種類の遊びを紹介
☎同園 ☎0287-98-3055

両毛交流ウォーキング館林大会

●10/30(日)午前9時30分～午後3時 ●たっぷり歩こうコース(約15km)、のんびりファミリーコース(約6.5km) ●参加無料 ●申込み 参加コース・住所・氏名・年齢・電話番号を記入しハガキなどで ●申込締切 10/7(金)
☎両毛広域都市圏総合整備推進協議会(館林市城町1-1) ☎0276-72-4111

蝶々からの花便り



私は高原の貴婦人クジャクチョウ。マルバタケブキの蜜は量も多くてオイシイですよ。奥日光や那須の山々が私たちの活動舞台。成虫で冬を越すので羽根の裏側は真っ黒なんです。幼虫時代にはホソバイラクサを食べます。イギリスでも「ピーコック・バタフライ」と呼ばれています。

文化情報

子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567
☎028-659-5555 ●月曜-第4休曜 7/19(火)

夏の企画展

「はかりの国へようこそ～あなたも今日からものさし博士～」
●7/16(土)～9/4(日) ●自分の体や身近な物など、いろいろな物を測ってみよう。測定や単位の大切さを楽しみながら実感できます ●観覧券が必要です



文化情報

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7
☎028-621-3566 ●月曜日

前衛の女性1950～1975

●7/24(日)～9/11(日) ●1950～60年代の前衛芸術運動の熱気の中で活動した女性アーティスト46名の作品を紹介。絵画や立体、映像など約220点により戦後の「前衛」や「女性性」を問い直します



「人と魚」桂ユキ子 油彩、カンヴァス 1954年 愛知県立美術館蔵

文化情報

県立博物館

宇都宮市睦町2-2
☎028-634-1312 ●月曜日

企画展「とちぎの歴史街道一みちの世界へ」

●7/23(土)～9/11(日) ●古代から現代までの栃木の街道を紹介 ●オープニング講座 ●7/23(土)午後1時30分～ ●定員 150名 ●申込みは電話で ●見学会「街道を歩こう」 ●8/10(水)午前9時30分～正午 ●今市市(現地集合) ●定員 50名 ●参加費 100円 ●申込みは7/31(日)までに参加者全員(5名まで)の名前・住所・年齢・電話番号を記入して往復ハガキで

文化情報

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8
☎028-643-1010

ダモイ～収容所(ラーゲリ)から来た遺書

●8/19(金)午後7時開演 ●戦後シベリアに抑留された男たちの物語 ●指定席3,000円 ●好評発売中 出演/平田 満さん
●佐渡裕指揮/東京フィルハーモニー交響楽団特別演奏会 ●11/10(木)午後6時30分開演 ●S席6,000円～C席3,000円(学生2,000円) ●7/29(金)発売開始
●諏訪内晶子 J.S.バッハ・プロジェクト2005 ●12/15(木)午後7時開演 ●S席7,000円～C席4,000円(学生2,000円) ●8/12(金)発売開始

ご意見募集!

「とちぎ県民だより」へのご感想をお寄せください。ご意見をいただいた方の中から抽選で20名の方に写真集「とちぎ春夏秋冬」を差し上げます。官製ハガキに住所・氏名・年齢・ご意見を記入の上、次のあて先までお送りください。
〒320-8501 県広報課
「とちぎ県民だより」係

information とちぎテレビ 県の広報番組

クローズアップとちぎ ●毎週日曜9:00～9:30
●7/17-24は8:05～8:35
●(再)月曜22:00～22:30

7月17日 とちぎファームフェスタ2005
24日 ルールとマナーを守ろう! 自転車の交通安全
31日 発達障害者への支援
8月7日 産業の振興をめざして、
14日 とちぎ心のルネッサンス

なるほど! とちぎ

7月23日 地産地消でござうさん
30日 密着! 交番24時!
8月6日 水産試験場・なかがわ水遊園
13日 なす高原自然の家

とちぎのオンリーワン

7月18日 石橋江戸神輿
25日 三協システム㈱
8月1日 ㈲ヨコタ
8日 ㈱ニコウクリエート

県政ひとくちメモ

7月21日 薬草教室～身近な薬用植物～
28日 ピアルーム
8月4日 道路ふれあい月間・道の日
11日 食中毒の予防

とちぎ教育新事情

7月17日 県民カレッジ～学ぶ喜び 知る楽しさ～
24日 県立学校紹介～大田原女子高校～
31日 食育を考えよう
8月7日 地域スポーツの新しいしくみ
14日 県立学校紹介～鹿沼東高校～